

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月25日

計画の名称	霧島市の街路整備における通学路の交通安全確保による安心安全な地域づくり（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	霧島市												
計画の目標	快適で活力ある生活空間の形成を図るため、通学路交通安全プログラムに位置付けられた通学路の安全対策が必要な箇所対策を実施し、歩行空間の確保等による安心して快適なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	597	A	597	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	都市計画道路内にある通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合を向上させる。			
	都市計画道路内にある通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合	24%	24%	27%
	都市計画道路内にある通学路の安全対策が必要な箇所に対し、対策を実施した割合（%）= 対策を実施した箇所数（箇所） / 安全対策が必要な箇所数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	新川北線	現道拡幅 L=0.24km	霧島市						119	-	
		R3～防安全P34から移行																	
	A01-002	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	日当山線	現道拡幅 L=0.40km	霧島市						210	-	
		R3～防安全P34から移行																	
	A01-003	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	S街路	改築	新町線	現道拡幅 L=0.14km	霧島市						268	-	
		R3～防安全P34から移行																	
												小計						597	
												合計						597	

事前評価チェックシート

計画の名称： 霧島市の街路整備における通学路の交通安全確保による安心安全な地域づくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込める。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地域の協力が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○